

# 横浜市インフルエンザ流行情報 8号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

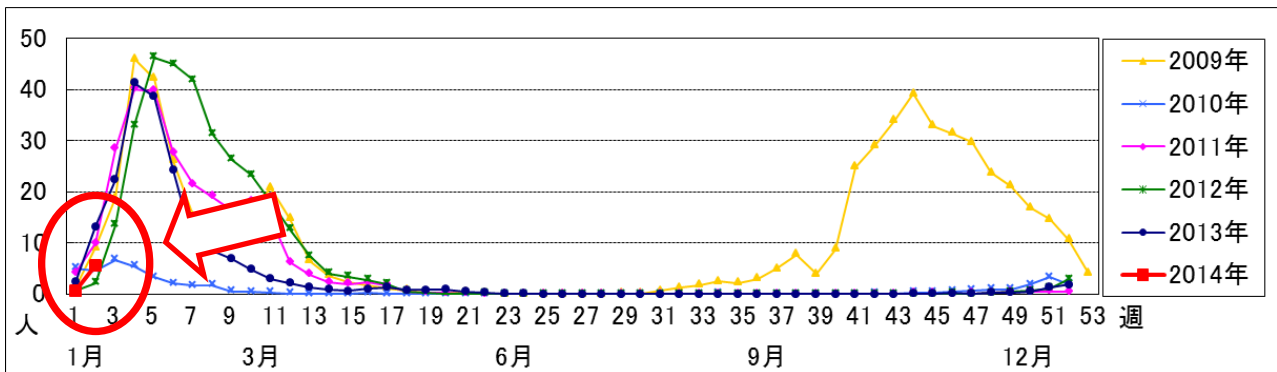
## 《トピックス》

- 2区で注意報発令基準値（定点※<sup>1</sup>あたり10.00）を上回りました。
- 衛生研究所で検査したA(H1N1)pdm09の9株全例で耐性株は見つかりませんでした。
- 今後、インフルエンザの本格的な流行が予想されるため、予防や早期受診などの対策※<sup>2</sup>が重要です。

※1 定点・・定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内152か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。

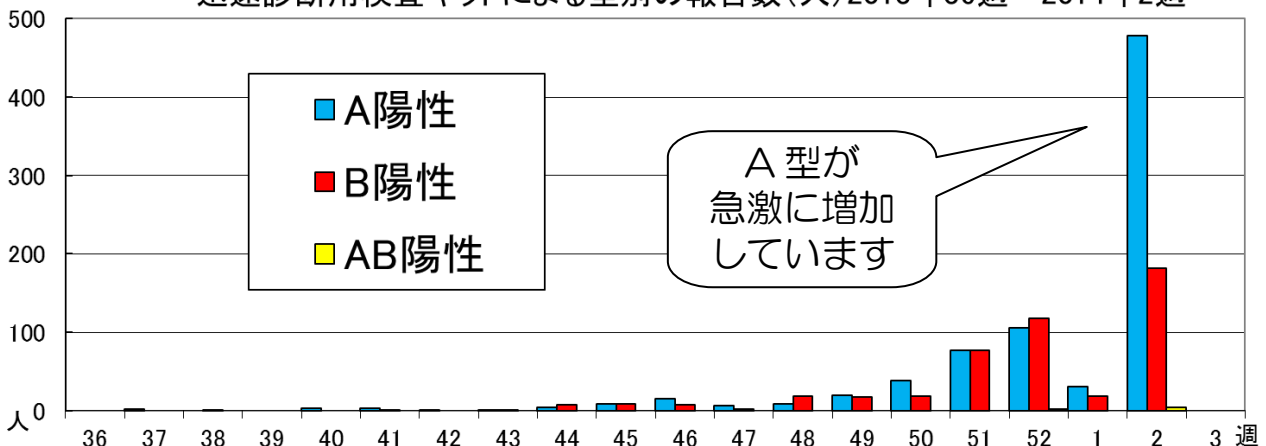
※2 [インフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

1 市内流行状況:市全体の定点あたりの患者報告数は、第2週(1月6日~12日)5.63と増加中です。神奈川区 10.33、都筑区 10.00と注意報発令基準値を上回っています。



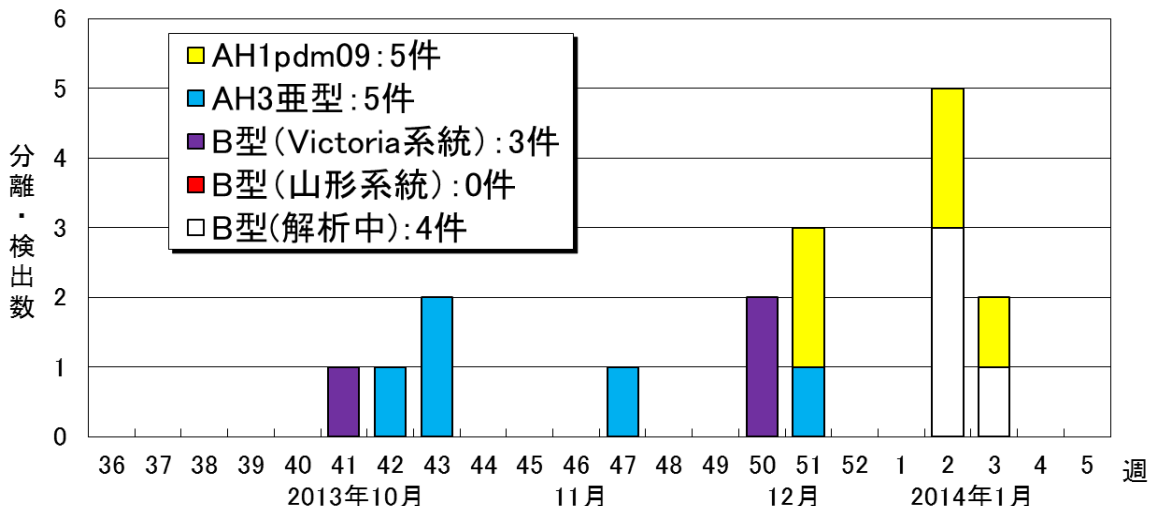
2 迅速キット結果:昨年第36週から今年第1週までの累計ではA型とB型が同程度報告されていましたが、第2週では一転してA型72.0%と、A型の報告が多くなっています。(注:第1週(2013.12.30~2014.1.5)は休診の医療機関が多いため、報告数が少なくなっています。)

横浜市内の患者定点医療機関における  
迅速診断用検査キットによる型別の報告数(人)2013年36週~2014年2週



**3 市内病原体検出状況:**市内では病原体定点から今シーズン計 17 件インフルエンザウイルスが分離・検出されていますが、**昨年 51 週以降は AH1pdm09 が 5 件と多く検出されています。**

病原体定点からのインフルエンザ分離・検出状況(2014年1月15日現在)

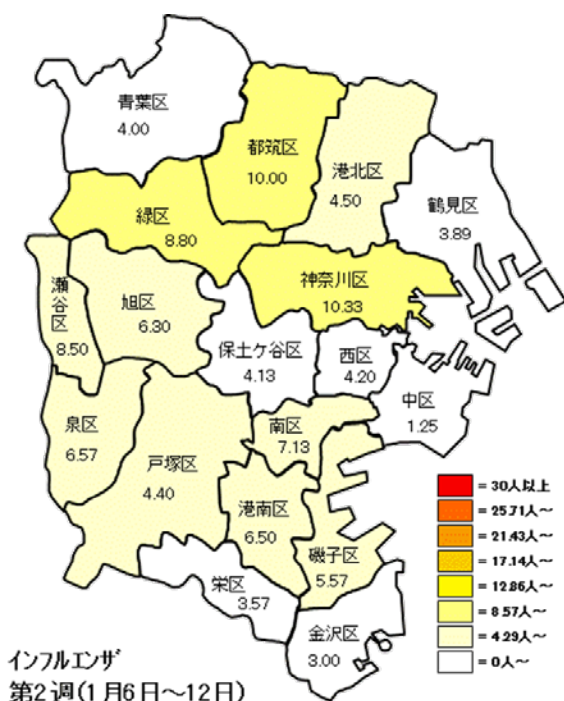


**4 分離株の抗原性解析と耐性検査:**市内で検出されたウイルスを国立感染症研究所でワクチン株との抗原性解析(HI 試験)を実施したところ、AH3 亜型株、AH1pdm09 株は**すべて 2 管差以内**でした。一般的に 2 管差(HI 価 4 倍)以内でワクチン株と類似していると言われています。(注:抗原性解析は、実験室的にウイルス株とワクチン株の類似性を確認しているだけで、臨床的なワクチンの効果は疫学的に検証する必要があります。)

衛生研究所で **AH1pdm09 の 9 株を検査したところ、耐性株はありませんでした。**

亜型名	ウイルス株名	検体採取日	抗原性解析結果
AH3 亜型株	A/YOKOHAMA/159/2013	2013/10/21	1 管差
	A/YOKOHAMA/158/2013	2013/10/21	1 管差
	A/YOKOHAMA/157/2013	2013/10/19	1 管差
	A/YOKOHAMA/154/2013	2013/09/02	1 管差
	A/YOKOHAMA/155/2013	2013/09/02	同等
	A/YOKOHAMA/160/2013	2013/11/24	同等
AH1pdm09 株	A/YOKOHAMA/156/2013	2013/09/09	1 管差

**5 区別流行マップ**



【お問い合わせ先】  
 横浜市健康福祉局健康安全課  
 TEL 045(671)2463  
 横浜市衛生研究所  
 感染症・疫学情報課  
 TEL 045(754)9815